

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「地球規模課題である低炭素社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

「ゲームチェンジングテクノロジー」による低炭素社会の実現

3. 研究開発課題名

100MHz スイッチング電源用磁心材料開発

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

佐藤 敏郎(信州大学 学術研究院工学系 教授)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、100MHz スイッチング電源の実現に向けて、磁心材料-インダクタ/トランス-回路方式-コンバータ実装の総合的な開発を目指すものである。

探索研究期間では、研究代表者の豊富な経験と見識に基づくリーダーシップの下、材料、回路、部品、モジュール開発を通じて、目標としていた電力変換器の効率を達成したことを評価する。

また、世界トップの企業と連携して磁性材料やモジュールなどのスムーズな技術移転を意識した開発スキームは本事業の趣旨(社会実装)に合致しており、優れた成果が認められた。

以上のことから、今後の研究開発が発展することを期待する。

以上